

# 小牧市地域公共交通網形成計画



平成30年3月

小牧市



# 目次

## <課題整理編>

### I 地域公共交通網形成計画策定の背景

- 1. 地域公共交通網形成計画の策定に向けて…………… 1
  - (1) 小牧市地域公共交通網形成計画策定のねらい…………… 1
  - (2) 小牧市地域公共交通網形成計画の位置づけ…………… 2
  - (3) 公共交通及びまちづくりに関する施策の実施状況…………… 3

### II 地域特性と公共交通の現状整理

- 1. 小牧市総合交通計画の進捗状況…………… 4
  - (1) 小牧市総合交通計画の概要…………… 4
  - (2) 重点プロジェクトの進捗状況…………… 6
  - (3) 施策の進捗状況…………… 14
- 2. 上位関連計画と地域特性の整理…………… 18
  - (1) 上位関連計画の整理…………… 18
  - (2) 地域特性の整理…………… 23
- 3. 主要集客施設の立地状況…………… 37
  - (1) 主要集客施設の立地状況…………… 37
  - (2) 主要観光施設の利用状況…………… 40
- 4. 既往調査から見た移動特性の把握…………… 41
  - (1) 道路交通センサスから見た自動車交通の状況…………… 41
  - (2) 中京都市圏パーソントリップ調査から見た移動特性…………… 43
- 5. 公共交通の現状…………… 47
  - (1) 公共交通の現状…………… 47
  - (2) 公共交通による移動の利便性…………… 65

## Ⅲ 各種アンケート等の実施結果

<b>1. 各種アンケート調査</b> .....	68
(1) 市民アンケート .....	68
(2) バス利用者アンケート調査 .....	72
(3) バス利用者ヒアリング調査 .....	78
(4) バス停利用者調査 .....	81
(5) 企業アンケート調査 .....	82
(6) 従業員アンケート調査 .....	84
(7) 教育機関アンケート調査 .....	86
<b>2. 各種アンケート等のクロス集計結果</b> .....	88
(1) クロス集計結果 .....	88
(2) 集計結果（抜粋） .....	88
<b>3. 通過時刻調査</b> .....	90
(1) 調査の実施概要 .....	90
(2) 路線別集計結果（抜粋） .....	90
<b>4. 交通事業者ヒアリング</b> .....	91
(1) 調査の実施概要 .....	91
(2) 調査結果（抜粋） .....	91
<b>5. 公共交通地域懇談会</b> .....	93
(1) 開催概要 .....	93
(2) 開催結果（抜粋） .....	93

## Ⅳ 小牧市地域公共交通網形成計画策定に係る課題整理

<b>1. 地域特性と公共交通の現状整理結果及び各種ニーズ調査     結果を踏まえた課題</b> .....	96
<b>2. 小牧市総合交通計画で示される公共交通関連の課題との比較</b> ..	104

## <計画編>

### V 持続可能な地域公共交通網の形成に資する地域公共交通の活性化及び再生の推進に関する基本的な方針

1. 小牧市地域公共交通網形成計画の基本理念…………… 106
2. 小牧市地域公共交通網形成計画の将来像及び基本方針…………… 107

### VI 計画の目標

1. 計画の区域と計画期間…………… 110
  - (1) 計画の区域…………… 110
  - (2) 計画期間…………… 110
2. 計画の目標…………… 110

### VII 目標を達成するために行う事業・実施主体

1. 目標を達成するために行う事業・実施主体・スケジュール…………… 114
  - (1) 〈施策1〉公共交通ネットワークの構築…………… 115
  - (2) 〈施策2〉交通結節機能の強化…………… 122
  - (3) 〈施策3〉公共交通の利用促進…………… 126
  - (4) 〈施策4〉持続可能な交通サービスの提供…………… 137
2. 各事業と将来像及び課題の関係性…………… 141
3. 各事業の実施主体とスケジュールの整理…………… 146
4. 拠点別の将来像…………… 148

### VIII 計画の達成状況の評価

1. 小牧市地域公共交通網形成計画の評価…………… 157
2. 事業単位の評価・検証…………… 158
3. 路線単位の評価・検証…………… 159

## <参考資料>

1. 用語解説 .....	160
2. 策定体制 .....	164
3. 策定経過 .....	169
4. パブリックコメントの概要 .....	173

## 市長あいさつ



### 「持続可能な公共交通網」の構築に向けて

本市は、東名・名神高速道路、中央自動車道、さらには名古屋高速道路の結節点であり、加えて県営名古屋空港にも至近といった恵まれた立地条件から、交通の要衝都市として発展してきました。

他方、市内の公共交通については、平成 15 年の上飯田連絡線開通により、名古屋市へのアクセス利便性が飛躍的に高まった一方で、平成 18 年には新交通システム桃花台線が廃止になったこともあり、市内各地で開催したタウンミーティングや第 6 次小牧市総合計画新基本計画の策定にかかる市民意識調査等においても、市内の公共交通の充実を望むご意見やご要望が多く挙げられ、市民にとって重要度は高いものの、満足度は低いといった状況が見受けられていたことから、市内の公共交通の充実を図ることは、本市における重要な課題の一つとなっていました。

こうしたことから、市内の公共交通の更なる発展に向けて、名鉄バス間内・岩倉線の運行及び鉄道駅のバリアフリー化に向けた取り組みや、こまき巡回バスの再編などを実施して、利便性向上を図ってきたところであります。

しかしながら、今後も利便性が高く、より効果的・効率的な公共交通ネットワークを維持・存続していくためには、新たな利用者の確保・定着に向けた利用促進、近隣市町との連携、及びサービス水準の見直しなど様々な取り組みを関係者の皆様方と連携しながら実施していくことが必要不可欠であり、さらには都市計画マスタープランにおける将来都市構造や立地適正化計画における都市機能の立地などを踏まえた、まちづくりとの連携がますます重要になっていきます。

そこで、地域の活力と交流を育み、地域を支える持続可能な交通体系の構築を目指すため、この度、「小牧市地域公共交通網形成計画」を策定しました。本計画では、隣接市町コミュニティバスとの連携や交通結節点での待合環境の充実などを掲げ、更なる利便性向上を図るとともに、多様なツールによる情報提供や交通事業者と連携した PR 活動の実施により、分かりやすく、親しみを持っていただける公共交通を目指してまいります。

今後は、まちづくりと連携した「持続可能な公共交通網」の構築に向けて、行政・民間企業・地域住民が一体となって本計画に掲げる事業に取り組んでまいりたいと考えております。

最後に、本計画の策定にあたり、ご尽力、ご協力を賜りました小牧市地域公共交通会議の委員の皆様を始め、各種アンケートや公共交通地域懇談会にご協力いただき、貴重なご意見をいただきました市民の皆様、市内企業の皆様ならびに関係各位に心から感謝申し上げます。

平成 30 年 3 月

小牧市長 山下 史守朗

## 会長あいさつ



### 公共交通の維持・発展のために

現在、日本は超高齢社会を迎え、運転免許証の自主返納などにより移動が制限された、交通弱者が年々増えている状況です。そのうえ、今後も更に人口減少、高齢化が進むと予想されており、まちづくりにおいて、生活に必要な施設やサービスを集約化し、効率的に活動するための「コンパクトシティ」を目指していくことが重要であると言われています。こうした背景から公共交通は、住民の移動手段や「コンパクトシティ」の実現に向けて、日に日にその重要度が増しています。

しかしながら、モーターゼーションが進展し、多くの人が自家用車を所有するようになり、電車、バスといった公共交通機関は縮小・撤退を繰り返し、長年に渡って衰退を続けているのが現状となっています。また、利用者が減少することにより交通事業者の業績が悪化し、サービス水準の低下を余儀なくされ、更に利用者が減少するといった、いわゆる「負のスパイラル」や、業績の悪化による従業員の賃金低下や高齢化などの理由から、全国的に運転手の不足が深刻な状況に陥っているなど、公共交通を取り巻く問題が数多く存在しています。

そのような中で小牧市は、公共交通に対する政策に力を入れており、特にコミュニティバスについては近隣市町と比べかなり充実していますが、今後の利用状況によっては、路線の見直しなどを検討せざるを得なくなる可能性もあります。

そのため、小牧市の公共交通を持続可能なものにするために、サービス水準などについて見直しを行うとともに、市民の移動手段として自家用車ではなく公共交通機関を選択してもらえるような魅力ある公共交通体系を構築することで、ひとりでも多くの方に利用してもらうことが重要です。

こうしたことから、電車、バス、タクシーといった市内公共交通の現状、問題点、課題などに対して、市民、事業者、行政が連携して地域公共交通を再生し、活性化していくために、この「小牧市地域公共交通網形成計画」を策定しました。

本計画に基づき、今後、様々な施策を実施していくこととなりますが、公共交通の再生ならびに活性化には長い時間を要し、一朝一夕でできるものではなく、また、地域に根付き、発展していくためには、将来を見据えながら実施していく必要があります。

最後になりますが、事業者、行政はもちろんのこと、市民の皆様方が、日頃から、自家用車に依存しすぎることなく、公共交通を積極的に利用することで、事業者、行政と一体となって市内の公共交通を守り、育てる意識を持つことが、持続可能な公共交通網の形成には不可欠です。

今後も市内の公共交通の維持、発展のため、市民の皆様のご協力をお願いいたします。

平成 30 年 3 月

小牧市地域公共交通会議 会長 磯部 友彦